

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公開番号】特開2011-143255(P2011-143255A)

【公開日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-030

【出願番号】特願2011-30637(P2011-30637)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月14日(2011.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

睡眠時の陽圧呼吸法の様々な形態には、無呼吸症患者のための効果的な治療形態があり得る。人工呼吸は、陽圧が呼吸サイクルの間中気道内で維持される持続的陽圧呼吸(CPAP)、陽圧が吸気時には維持されるが呼出時には減じられるバイレベル式陽圧呼吸システム、無呼吸状態が感知されたときに圧力が与えられる間欠(非持続)的陽圧呼吸の形態で適用されることができる。このような処置において、患者は、睡眠時に鼻を覆うようにマスクを着用し、エアプロアからの圧力は、空気を鼻腔中に吐出する。代表的に、このようなマスクは、マスクの壁部と患者の顔とにより形成されたチャンバ中にガスを送るガス供給ラインを受け入れている。これら壁部は、通常は半剛体であり、患者の鼻孔とアライメントする顔面接触部分を有している。この顔面接触部分は、顔のそれぞれ異なる輪郭に適合し得るソフトな弾性エラストマー材料を有することができる。このマスクは、一般に、ストラップにより患者の頭に装着される。これらストラップは、マスクと患者の顔との間に気密シールを達成するが不快なほど締め付けることのないように、十分な力でマスクを顔に引っ張るように調節される。例えば、特許文献1には、患者の顔面に接触するクッションをフレームに取り付け、ヘッドギアで患者の顔面に装着する呼吸用マスクについて記載されている。また、特許文献2から特許文献4にもこのようなマスクが記載されている。

(先行技術文献)

【特許文献1】米国公開公報U S 2 0 0 4 / 1 1 8 4 0 6 A 1

【特許文献2】米国公開公報U S 2 0 0 4 / 1 1 2 3 8 5 A 1

【特許文献3】米国公開公報U S 2 0 0 3 / 0 8 9 3 7 2 A 1

【特許文献4】米国公開公報U S 2 0 0 3 / 2 2 1 6 9 1 A 1